

みどり市名所探訪

第3回

神戸駅看板 (東町)

「ごうど」にして 「ごうべ」にあらず

◎所在地

東町神戸891。構内にはかつて東武鉄道日光線を走っていた列車を利用したレストラン「清流」がある。

今回のガイド



松島 茂さん
(東町)

言わずと知れたみどり市観光ガイドの会会長。ガイドの際の説明は、明快で分かりやすいと評判です。

ガイドとしても、人間としても、魅力溢れた素晴らしい人です。



看板には「神戸」を「神土」に書き直した痕跡がある

わたらせ渓谷鐵道は、大正元年に足尾鐵道として全線開通以来百年を越える鐵道として、沿線の人々や、観光客に親しまれ今日まで来ています。沿線には、38の国登録有形文化財が点在しており、そのうちの1つが神戸駅舎です。神戸駅では、駅舎以外にもレンガ造りの危険品庫や上下線のプラットホームなど、開業当初の雰囲気を残す国登録有形文化財があります。

今回は、神戸駅舎の駅名看板に着目しました。旧足尾鐵道、国鉄足尾線当時は、兵庫県の神戸(こうべ)駅との名前の混乱を避けるため「神土(ごうど)駅」とされていました。平成元年、第三セクターわたらせ渓谷鐵道の開業に伴って、駅のある本来の地名「神戸(ごうど)駅」に改称されました。看板には、「土」から「戸」に書き直された痕跡をうかがい知ることができ、この鐵道の歴史が垣間見えます。

今から数年前にあった、うそのような本当の出来事です。

朝早く、若い1人の外国人男性が神戸駅に降り立ちました。その青年は何をすることなく1日中、

駅で過ごしていました。夕方になり、ちよつと不自然なので地元の人々が事情を聞いてみると、友人と「神戸(こうべ)駅」で待ち合わせをして、ここで、来ない友人を待っていると言うのでした。ここは「神戸(ごうど)駅」で「神戸(こうべ)駅」でないことを伝えると、次の上り列車に乗って帰って行きました。果たしてその友人には巡り会えたのでしょうか。



みどり市 観光ガイドの会

市内の歴史や魅力を発信するため平成22年7月に発足。笠懸・大間々・東・山岳・小平の5部会に分かれ、ボランティアで活動中。定期コースや単発企画コースなどのほか、事前にご相談いただければ、利用者の希望に添ったコースを作成します。

また、一緒に活動してくれる会員も随時募集しています。

問い合わせ先

みどり市観光ガイドの会事務局
(市役所観光課内) ☎(76)1270